

江戸歴史講座 第38回

# 国芳とねこ-動物愛と江戸絵画



歌川国芳「猫と遊ぶ娘」個人蔵

今、空前の猫ブームといわれています。しかし、古くから猫は人と共に生活し、その姿は文学や絵画に描かれてきました。なかでも歌川国芳の描く猫は、現代の猫好きをも惹きつけてやみません。その魅力は、単なるかわいらしさにとどまらない、猫好きの心をくすぐる「深さ」や「ややこしさ」にもあるでしょう。この講座では、そんな国芳の猫の絵を楽しみ、分析します。さらに、その背景にある江戸時代の人々の動物への愛について、円山応挙や伊藤若冲の作品など、さまざまな動物絵画を見ながら考えてみたいと思います。

**講師** 金子 信久（府中市美術館 学芸員）

1962年東京都生まれ。慶應義塾大学文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。専門は江戸時代絵画史。著書に『ねこと国芳』（パイ インターナショナル 2012年）、『たのしい日本美術 江戸かわいい動物』（講談社 2015年）、『たのしい日本美術 日本おとぼけ絵画史』（講談社 2016年3月発売）など。

## 開催概要

- 日時：2016年4月20日（水）19:00～20:30（18:30 開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円（千代田区民 500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて  
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。